

通貨オプション取引便覧

CME通貨先物オプションとOTCオプションの
関係を理解する



CME Group

CMEグループ(cmegroup.com)は、世界で最も先進的かつ多角的なデリバティブ市場です。世界中から多くの人々が取引に参加しており、リスクを管理しています。当グループの取引所には、金利、株価指数、通貨、エネルギー、農産物、金属、天候、不動産関連の先物・オプションが上場されています。そして、あらゆる主要資産クラスで、世界標準のベンチマークを幅広く発信しています。当グループでは、電子取引システムのCME Globex®およびニューヨークとシカゴにある立会場をとおして、売りと買いの付け合せをしています。そして、近くロンドンにもデリバティブ取引所を開設する予定です。また、世界トップクラスの中央清算機関であるCME Clearingを運営しており、さまざまな資産クラスで、取引所デリバティブ取引およびOTC(店頭)デリバティブ取引の清算・決済サービスを提供しています。こうした商品サービスで、あらゆる事業での取引相手の信用リスクを大幅に軽減しているのです。

通貨デリバティブ

CME—世界最大級の通貨先物・オプション市場

CMEグループの通貨デリバティブ市場は、1日平均1090億ドル規模の出来高、2200億ドル規模の取組高を誇ります。規制監督のある市場としては世界最大です。当グループでは、ますます多様化しつつグローバル化する市場参加者に向けて、最先端の取引プラットフォームを取引手段のひとつとして提供しています。当グループの通貨先物・オプションは急速に出来高を増やしており、その伸び率はOTC市場を上回るほどです。通貨には、シドニー市場が開いてからシカゴ市場が閉まるまで、1日平均5兆3000億ドルもの取引機会があります。この世界最大の資産クラスで運用する手段を当グループほど多彩に提供しているところは、ほかにはありません。外国為替市場がますます電子化し、発展するなか、当グループの多種多様な商品サービスは、利用者がより効果的にリスクを管理し、より効率的に資金を活用し、より成功を収められる一助となるよう、設計されています。当グループに上場している通貨デリバティブは、主要国および新興国の22通貨に基づいた73銘柄の先物と31銘柄のオプションです。また確実なOTC清算サービス、柔軟な執行方法、そして近日稼働予定のCME Europeを含めた取引手段の選択肢拡大によって、取引所取引と場外取引の両方で、包括的な解決策を提供できるよう鋭意努力しています。

目次

3つの特徴的な取引手段がある	2
CME通貨オプションから 先物が成立する	5
CME通貨オプションは 満期が標準化されている	6
CME通貨オプションには ヨーロピアンとアメリカンの2タイプがある	7
CME通貨オプションの 権利行使の流れ	8
プレミアム建値オプションの 識別コード	9
プレミアム建値オプションを 評価する	10
CME通貨オプションの「価格」を インプライドボラティリティに変換する	12
満期が同じCMEとOTCのオプションの 権利行使価格を比較する	13
CME通貨オプションの スプレッド取引	15
CME Globexに上場する 通貨オプションの早見表	16
緊急連絡先	18

1日80億ドルを超える 通貨オプションの流動性 にアクセスする3つの 特徴的な取引手段がある

CME Globex

高速性、透明性、利便性、そして流動性

CME Globexは、リターンの機会を最大限に得るのに求められる高速性、流動性、柔軟性、そして透明性を兼ね備えた電子取引プラットフォームです。通貨オプションでは、1日平均出来高の85%超を電子取引が占めています。CME Globexならではの特徴は次のとおりです。

- » 世界中から1日23時間アクセスできる単独の電子取引プラットフォームに、31銘柄の通貨オプションが上場
- » 主要国および新興国の通貨を対象
- » 満期を四半期、月次、週次で設定
- » 権利行使はアメリカンタイプとヨーロピアンタイプの2種類
- » 90を超える国・地域から1000の直接接続
- » 香港、クアラルンプール、ロンドン、メキシコシティ、ニューヨーク、サンパウロ、ソウル、シンガポール、そして東京に通信ハブを設置

立会場取引

場立ちを活用する

現代デリバティブ発展の礎となった立会場を通じての通貨オプション取引には、次のような利点があります。

- » 簡単な手続きで、瞬く間に流動性にアクセスできる(接続インフラや発注システムが不要)
- » ポイスブローカーの利用で、最大限に融通の利いた注文の執行を実現できる
- » 経験豊富な立会場トレーダーとのやりとりで、価格発見が容易になる

ブロック取引

相対取引に、

CME Clearingの安全性を

相対で値決めした取引をそのまま維持しながら、CME Clearingの利点を享受できる

- » 厳選された適格業者との個別交渉で取引について決められる操作性と利便性が維持されている
- » CME Clearingのリスク管理と相手先信用保証の機能を利用できる
- » 取引手数料を43%割引中(1.75ドルを1.00ドルに)

お気軽にご相談ください

CME通貨オプション取引について不明な点がございましたら、CMEグループFXチームのメンバー宛てに直接ご連絡いただくか、cmegroup.com/fx をご覧ください。

CME通貨オプションから先物が成立する

1枚のオプションから1枚の先物が成立します。また、各オプションが対象(原資産)とする先物と同じ取引単位と通貨建てで設定されています。

【例】

EUR/USD(ユーロ／米ドル) = 125,000ユーロ

JPY/USD(日本円／米ドル) = 12,500,000円

JPY/USD(日本円／米ドル) = 12,500,000円

CAD/USD(加ドル／米ドル) = 100,000加ドル

CHF/USD(スイスフラン／米ドル) = 125,000スイスフラン

AUD/USD(豪ドル／米ドル) = 100,000豪ドル

通貨先物には年に4本の限月があります(3月限、6月限、9月限、12月限のいわゆる3月基準の四半期限月制)。受渡日は各四半期限月の当該月第3水曜日です。多くの為替トレーダーが、この日を「IMM(国際金融市場)デート」と呼んでいます。

CME通貨先物の取引単位となるのは外貨(米ドル以外の通貨)で、建値は米ドル建てです(クロス通貨ペアは除く)。したがって、コールは外貨を買う権利、プットは外貨を売る権利といえます。例えば「日本円／米ドル」オプションなら、コールは日本円を買う権利、プットは日本円を売る権利です。これはOTC(店頭取引)市場の取引慣習と同様となります。

CME通貨オプションは 満期が標準化されている

主要通貨ペアのオプションでは、常に10の満期日が設定されています。具体的には、4本の四半期限月オプション、2本のシリアル限月(四半期以外の連続限月)オプション、4本の週次オプションです。

4本の四半期限月オプションの満期日は、当該月第3水曜日(原資産となる先物の受渡日)よりも2週前の金曜日に設定されています。こうすることで、オプションの買い手が、権利行使で成立した先物から現物の受渡をするよりも、この先物の解消(手仕舞い)を望むのであれば、少なくとも1週間の余裕があるわけです。

2本のシリアル限月オプションの満期日は、四半期限月以外の直近のふた月に設定されています。例えば、今日が4月15日なら、シリアル限月の1番限が5月限に、四半期限月の1番限が6月限に、シリアル限月の2番限が7月限になります。シリアル限月オプションの満期日も、そのオプションの当該月の第3水曜日よりも2週前となる金曜日です。ただし、シリアル限月オプションが権利行使の対象としている原資産は、直近の四半期限月の先物であることに注意してください。

4本の週次オプションの満期日は、シリアル限月オプションもしくは四半期限月オプションの満期日以外となる直近の4つの金曜日に設定されています。そして満期となるたびに新規の週次オプションが設定されます。つまり1番限が満期を迎えると、新しい4番限の週次オプションが発会するわけです。したがって、満期日のおよそ1カ月前から取引が始まります。そのため「週次」というのは、やや混乱を招く表現かもしれません。

したがって暦のうえでは、少なくとも直近5週もしくは6週にわたって、金曜日は何かしらのオプションの満期日となります。それから少し間が空いて、およそ10週先に次のシリアル限月もしくは四半期限月オプションの満期日があります。そして残りの四半期限月オプションの満期日が、およそ3カ月後、6カ月後、9カ月後、12カ月後にあるわけです。

CME通貨オプションにはヨーロピアンとアメリカンの2つのタイプがある

アメリカンタイプは、清算会社に連絡すれば、満期日前日の夕方までにいつでも権利行使ができるタイプのオプションです。一方、ヨーロピアンタイプは、満期日にしか権利行使ができません。ただし、アメリカンタイプの先物オプションを満期日よりも前に権利行使をしても、現物オプションで見られるほどの大きなメリットは「ない」ことに注意してください。権利行使で先物の建玉が成立しても、より高い利回りの原資産通貨がすぐに手に入るわけではないからです。理論的には、満期日前に権利行使がある通貨オプションは、かなりディープ・イン・ザ・マネー(DITM)で、持越費用(キャリーコスト)が時間価値を上回るオプションだけといえます。したがって、ほとんどの先物オプションでは、タイプによる評価の違いは、取るに足りません。大きな違いは満期となる時刻です。満期日の金曜日に、ヨーロピアンタイプは米中部時間9時(ニューヨーク時間10時)に満期となり、アメリカンタイプは米中部時間14時(NY時間15時)に満期となります。

アメリカンタイプは、昔からCMEで親しまれており、出来高の98%を占めています。その大きな理由は、満期日の金曜日にヨーロピアンタイプよりも5時間長く取引されるからです。そのため「米雇用統計」など多くの主要経済指標の発表時間がカバーされます。

CME Globexで通貨オプションを取引する場合、標準的な銘柄名で表示されているのはアメリカンタイプです。ヨーロピアンタイプであれば、長文ではっきりと銘柄名が表示されます。両者は識別コードも別々です。アメリカンタイプは識別コードに「6」という符号が含まれます。例えば、オプションの識別コードが「**6EU8**」なら「**6**」がアメリカンタイプ、「**E**」がユーロ／米ドル、「**U**」が8月限、「**8**」が2008年という意味です。一方、ヨーロピアンタイプは識別コードに「X」という符号が含まれます。例えば、オプションの識別コードが「**XJZ8**」なら「**X**」がヨーロピアンタイプ、「**J**」が日本円／米ドル、「**Z**」が12月限、「**8**」が2008年という意味です。

オプションの識別コードをすべて書くと「6EU8 P1550」のようになります。これはアメリカンタイプ、ユーロ／米ドル、2008年9月5日満期、プット、権利行使価格1.5500という意味です。なお、単純化のため、権利行使価格の符号には、小数点と最後の数値が反映されていません。

CME通貨オプションの 権利行使の流れ

主要6通貨のオプションは満期時に、買い手の意思表示に関係なく、デイリーフィキシング(日々の値決めされる価格)を参照して「自動的に権利行使」されます。

満期時のフィキシング価格は、ヨーロピアンタイプの場合は9時までの30秒間に、アメリカンタイプの場合は14時までの30秒間に、CME Globexで取引された原資産先物の出来高加重平均に基づいてCME Groupが算出しています。フィキシング価格はCMEグループのウェブサイトでリアルタイムに発表されています。

cmegroup.com/fxfixing-price

1ピップでもイン・ザ・マネー(ITM)になっているオプションは、すべて自動的に権利行使されます。一方、アウト・オブ・ザ・マネー(OTM)となったオプションは、すべて無価値のまま自然消滅となります。

プレミアム建値オプション の識別コード

次の表は、プレミアムで建値を表示しているCME通貨オプションの一部です。

プレミアム建値オプション

銘柄	権利行使のタイプ	満期	識別コード
AUD/USD(豪ドル／米ドル)	アメリカン	月次	6A
		週次	6A1～6A5
CAD/USD(加ドル／米ドル)	アメリカン	月次	6C
		週次	6C1～6C5
CHF/USD(スイスフラン／米ドル)	ヨーロピアン	月次	XD
		週次	XD1～XD5
	アメリカン	月次	6S
		週次	6S1～6S5
EUR/USD(ユーロ／米ドル)	ヨーロピアン	月次	XS
		週次	XS1～XS5
	アメリカン	月次	6E
		週次	6E1～6E5
GBP/USD(英ポンド／米ドル)	ヨーロピアン	月次	XT
		週次	XT1～XT5
	アメリカン	月次	6B
		週次	6B1～6B5
JPY/USD(日本円／米ドル)	ヨーロピアン	月次	XB
		週次	XB1～XB5
	アメリカン	月次	6J
		週次	6J1～6J5
MXN/USD(メキシコペソ／米ドル)	ヨーロピアン	月次	XJ
		週次	XJ1～XJ5
	アメリカン	月次	6M、1M～5M
		週次	

注記:週次オプションの符号の「1」は第1週を、同様に「2」は第2週を表します。例えば、アメリカンタイプで2008年10月(V)第3週に満期を迎えるCHF/USDオプションの識別コードは「6S3V8」となります。

プレミアム建値 オプションを評価する

1枚のオプションを権利行使すると1枚の先物が成立します。そのため、各オプションの取引単位と建値の通貨建てでは、その原資産である先物と同一となるように設定されています。

【例】

EUR/USD(ユーロ／米ドル) = 125,000ユーロ

JPY/USD(日本円／米ドル) = 12,500,000円

GBP/USD(英ポンド／米ドル) = 62,500ポンド

CAD/USD(加ドル／米ドル) = 100,000加ドル

CHF/USD(スイスフラン／米ドル) = 125,000スイスフラン

AUD/USD(豪ドル／米ドル) = 100,000豪ドル

プレミアムの建値は、OTC市場の「ライブ」価格に相当します(ヘッジをしない場合)。プレミアムの建値は、外貨の相当額を米ドル建てで表示したものです。通常、プレミアムの最小変動幅(ティック=呼値)は、0.0001米ドル刻みとなります(ただし日本円／米ドルは0.000001米ドル)。1ティックが変動して生じる1枚当たりの損益額は、例えばユーロ／米ドルならば、0.0001ドルに取引単位の12万5000ユーロを乗じた12.50ドルです。

次ページに掲載した画像では「ユーロ／米ドル2008年8月限1.5550コール」のビッド(買い気配)が77で、280枚の注文があると分かれています。つまり、この権利行使価格のコールを1枚当たり962.50ドル(=0.0077ドル×12万5000ユーロ)のプレミアム代金を払って買おうとする注文があるわけです。仮に売り手がこのビッドに指された注文をすべて引き受けて約定したとすると、受け取れるプレミアム代金は26万9500ドル(=280枚×962.50ドル)になります。この売りポジションの取引金額は3500万ユーロ(=280枚×12万5000ユーロ)です。

オプション建玉をヘッジしたい場合

先物を利用する: オプションのデルタ値にポジションの枚数を乗じ、それに等しい枚数の先物を買い建て(もしくは売り建て)ます。先ほどの例であれば、このコールのデルタが約50%なので、買い手がこのポジションをヘッジするには、140枚(=280枚×0.50)の先物を売り建てればよいわけです。

OTC直物(スポット)市場を利用する: OTCオプションのデルタにポジションの枚数を乗じます。そして、1枚当たりの取引金額を乗じて、それに等しい金額の通貨を買いましたは売り建てます。先ほどの例であれば、 $50\% \times 280\text{枚} \times 12\text{万}5000\text{ユーロ} = 1750\text{万ユーロ}$ となります。したがって、オプションの買い手は直物市場で対米ドルで1750万ユーロを売るわけです。

The screenshot shows the CME EOS Trader application window. The menu bar includes File, View, Tools, Configuration, Workspace, Window, Help, and a logo for 'CME EOS Trader - The Trading Platform for the Future of Finance'. The toolbar includes icons for List, Viewer, Preferences, Depth, Sales, History, Alert, and Logout. The navigation bar shows tabs for Euro VOO ATM, EURPOO ATM, FUTURES, JPY VOO ATM, JPYPOO ATM, CAD VOO ATM, CADPOO, and CADPOO. The main area displays a table of option contracts with columns for Contract, Bid-Size, Bid Price, Ask Price, Last, Ask-Size, Net-Change, Volume, and Timestamp. A specific row for 'Euro FX AUG08 15550 Call' is highlighted in yellow, showing a bid of 50, ask of 51, and a net change of +2.0. The timestamp for this trade is 13:47:55. The bottom of the window shows a status bar with the text 'EUR AUD' and a timestamp of '13:40:26'.

Contract	Bid-Size	Bid Price	Ask Price	Last	Ask-Size	Net-Change	Volume	Timestamp
Euro FX AUG08 16000 call	150	3.0	5.0	101	2 0 4.0	+1.0	2	13:47:55
Euro FX AUG08 15550 call	150	4.0	6	100	50 0 3.0	-1.5	65	13:46:47
Euro FX AUG08 15500 call	189	6	8	95	1139 0 8	+2.0	1152	13:48:59
Euro FX AUG08 15550 call	258	8	11	295	1 0 13	+4.0	53	13:48:22
Euro FX AUG08 15600 call	246	12	15	316	75 0 14	+2.0	230	13:48:23
Euro FX AUG08 15750 call	246	18	21	322	5 0 21	+3.0	157	13:48:42
Euro FX AUG08 15700 call	210	26	29	150	3 0 26	+2.0	90	13:40:30
Euro FX AUG08 15650 call	10	19	41	50	2 0 39	+2.0	539	13:49:10
Euro FX AUG08 15600 call	102	55	50	150	1 0 55	+3.0	920	13:49:10
Euro FX AUG08 15550 call	280	77	80	77	8 0 73	+2.0	146	13:49:10
Euro FX AUG08 15550 Put	56	72	75	186	2 0 78	-10	209	13:49:10
Euro FX AUG08 15500 Put	10	50	53	257	1 0 52	-11	199	13:48:42
Euro FX AUG08 15450 Put	200	33	36	279	47 0 28	-16	165	13:48:59
Euro FX AUG08 15400 Put	150	21	24	345	3 0 24	-6	773	13:48:59
Euro FX AUG08 15350 Put	245	12	16	305	37 0 14	-5	60	13:48:31
Euro FX AUG08 15300 Put	225	7	10	245	1 0 8	-4.0	7	13:48:24
Euro FX AUG08 15250 Put	225	4.0	7	265	1 0 3.0	-4.0	5	13:46:47
Euro FX AUG08 15200 Put	225	2.0	4.5	75	2 0 3.0	-1.5	2	13:49:15
Euro FX AUG08 15150 Put	75	1.0	3.0	1	1 0 2.5	-0.5	1	13:44:56
Euro FX AUG08 15100 Put	1	1.0	2.0	5	-	-	-	13:25:48
Euro FX AUG08 15050 Put	-	-	2.0	94	-	-	-	13:28:49
Euro FX AUG08 15000 Put	1	0.5	1.5	75	2 0 1.0	+0.0	2	13:40:26

ここに掲載したCME EOS Traderの画像は、本文で解説しているプレミアム建値の例として使用しています。

CMEの「価格」を インプライドボラティリティ に変換する

プレミアム評価モデルの中には、あらかじめCMEの国際金融市場(IMM)の形式が組み込まれているものがあります。しかし、その多くはアメリカンタイプの仕様が標準設定されており、満期までの日数は満期日の次の土曜日で設定されています。満期日である金曜日いっぱいまで時間価値を反映させるためです。これは理論的には完全に正しいとはいえ、金曜日の朝に満期となるOTCオプションのインプライドボラティリティ(IV)の水準と比較しようとすると、若干のズレが生じてしまいます。この日数設定を調整するため、手動で満期日の設定部分を変更するか、IMMオプションの標準設定ルールを恒久的に変えます。こうすれば、ヨーロピアンタイプのIVと同一条件で比較できます(そしてアメリカンタイプは取引時間がさらに5時間あることに留意します)。

その他のモデルで、OTCオプションとIV評価で比べるには、次のような手順があります。

1. 外貨／米ドルの形式で評価システムを設定します。
2. 「満期日」にCME通貨オプションの満期日(金曜日のX日)を入力します。
3. CME通貨オプションの権利行使価格を外貨／米ドルの適当な場所に入力します。
4. アメリカンまたはヨーロピアンの選択をします(ただし、先物を原資産とするオプションでは重大な要素ではありません)。
5. 原資産となる先物のIMMデート(例えば四半期限月の第3水曜日)を受渡日(オプションのバリューデート)として入力します。
6. IMMデートの受け渡しとしてすべてが計算されたフォワード(先渡し)レートを入力します(これは直物レートとスワップレートから計算されたレートを用いるか、あるいは単に先物価格をフォワードレートとして入力します)。なお、繰り返しますが、レートは外貨／米ドルの形式あり、通貨オプションのプレミアム料金はドル建ての建値に外貨の取引単位を掛けたものであることに注意してください。
7. CME通貨オプションの「価格」を1外貨当たりの米ドル価格で入力します。
8. プレミアムの支払日を本日に設定します(同日支払——これは重要ではありません)。
9. IVを求めます。

このIVで、同じデルタ値(「同じ権利行使価格」ではありません)のOTCオプションを比較できます。

満期が同じCMEとOTCのオプションの権利行使価格を比較する

満期日が同じCMEオプションとOTCオプションで相応するものを出すには、権利行使価格で調整しなければなりません（また、それによってデルタが等しくなります）。

そのためには、満期日の直物と先物の差である為替スワップ（フォワードスワップ）の差額分がどれくらいか計算する必要があります。この為替スワップの差額分をCMEオプションの権利行使価格に加減することで、相応する権利行使価格のOTCオプションを出すのです。先物が直物よりも割安（ディスカウント）の場合は、為替スワップの差額分を足します。逆に割高（プレミアム）の場合は、為替スワップの差額分を引きます。

注:以下の例では、レートカーブが急勾配化していた数年前のデータを用いています。レートカーブが平坦な現在、この調整は無視してもよい程度のものですが、覚えておいて損はありません。

【例1】

CMEユーロ／米ドルオプション9月限1.5550コール（先物の受渡日は9月17日）に相応する8月8日満期のOTCオプションの権利行使価格を算出します。

＜前提＞ユーロ／米ドルの為替スワップカーブは、1日当たり-0.8ピップス（-0.00008）とします。

1. 直物の受渡日が8月12日、CME9月限のIMMデータが9月17日となるので、直物とIMMの日数差は36日です。したがって、スワップの差額分は $36 \times (-0.8) = -28.8$ ピップス、つまり-0.00288となります。
2. そのCMEオプションの権利行使価格にスワップの差額分を加算します。 $1.5550 + (0.0029) = 1.5579$

これで、8月8日に満期となる権利行使価格1.5579のOTCオプションが直物に反応する度合い（デルタ）と、8月8日に権利行使価格1.5579のCMEオプションが原資産である先物限月に反応する度合いが同じとなるわけです。

加ドル／米ドル、スイスフラン／米ドル、日本円／米ドルなど、OTC取引と建値が逆のCME銘柄は、上記に加えて数値を変換する作業が必要です。

次ページの例2をご覧ください。

【例2】

日本円／米ドル9450コール(実際の権利行使価格は0.009450だが、実用上の理由から小数点を使わずに表示される)に相応する9月5日満期のOTCオプションの権利行使価格を算出します。

＜前提＞米ドル／日本円の為替スワップカーブは、1日当たり-0.6ピップ(-0.006)とします。

1. 直物の受渡日が9月9日、CME9月限のIMMデートが9月17日となるので、直物とIMMの日数差は8日です。したがって、スワップの差額分は $8 \times (-0.6) = -4.8$ ピップス、つまり-0.048となります。
2. CMEオプションの権利行使価格をOTCの建値形式に換算します。
 $1 \div 0.009450 = 105.82$
3. CMEオプションの権利行使価格に為替スワップの差額分を加算します。
 $105.82 + 0.048 = 105.87$

この調整は、為替スワップの差額分が小さく、オプションの満期とIMMデートが近い場合、最小の額となる可能性があります。

以上の説明から分かるように、権利行使価格を調整した場合、満期日が同じOTCオプションとCME通貨オプションには、アービトラージ(裁定取引)の大きな機会があります。両オプションはほぼ同じ動きをするため、等しく評価されるはずです。ヨーロピアンタイプのCMEオプションであれば、NY時間10時の出来高加重平均価格で処理されます。直物はNY時間10時のレートで処理されるので、満期時間はほぼ同じです。したがって、効果的に相殺されます。実際のところ、アメリカンタイプのCMEオプションも相殺に使えないわけではありません。とりわけOTCショート(売り)とCMEロング(買い)のシナリオでは、OTCオプションが相殺されてから、CMEオプションで5時間にわたりポジティブガンマの取引ができます。

CME通貨オプションのスプレッド取引

オプションのスプレッドを評価するうえで重要な基本原則

電子取引でスプレッドの建値を出す場合、昔から次のような決まりごとを用いるのが一般的です。

1. 常に前者のオプションが「買い」となり、後者のオプションが「売り」となります。
2. パーティカルスプレッドでは、前者がITMに近いほうのオプションとなり、後者がITMから遠いほうのオプションとなります。
3. カレンダー(タイム)スプレッドでは、前者が期先となり、後者が期近となります。
4. リスクリバーサルでは、前者がコールの権利行使価格となり、後者がプットの権利行使価格となります。

例として、次に挙げるユーロ／米ドルオプションの建値を使います。

2008年9月限15500プットのビッド／アスク=50／51

2008年9月限15400プットのビッド／アスク=21／22

2008年10月限15500プットのビッド／アスク=150／153

2008年12月限15100プットのビッド／アスク=147／150

2008年9月限15600コールのビッド／アスク=19／21

【例1】2008年9月限15500—15400プットのパーティカルスプレッド
・建値28／30で15500買い、15400売り

【例2】2008年10月限15500プット—2008年9月限15500プットのカレンダースプレッド
・建値99／103で10月限買い、9月限売り

【例3】2008年12月限15100プット—2008年10月限15500プットのカレンダースプレッド
・建値6／0で12月限買い、10月限の売り

【例4】2008年9月限15600コール—15400プットのリスクリバーサル
・建値3／0でコール買い、プット売り

CME Globexに上場する 通貨オプションの早見表

銘柄	権利行使 のタイプ	取引単位
AUD/USD(豪ドル／米ドル)	A/E	100,000豪ドル
BRL/USD(ブラジルレアル／米ドル)	A	100,000ブラジルレアル
CAD/USD(加ドル／米ドル)	A/E	100,000加ドル
CHF/USD(スイスフラン／米ドル)	A/E	125,000スイスフラン
CZK/EUR(チェココルナ／ユーロ)	A	4,000,000チェココルナ
CZK/USD(チェココルナ／米ドル)	A	4,000,000チェココルナ
EUR/CHF(ユーロ／スイスフラン)	A	125,000ユーロ
EUR/GBP(ユーロ／英ポンド)	A	125,000ユーロ
EUR/JPY(ユーロ／日本円)	A	125,000ユーロ
EUR/USD(ユーロ／米ドル)	A/E	125,000ユーロ
GBP/USD(英ポンド／米ドル)	A/E	62,500英ポンド
HUF/EUR(ハンガリーフォリント／ユーロ)	A	30,000,000ハンガリーフォリント
HUF/USD(ハンガリーフォリント／米ドル)	A	30,000,000ハンガリーフォリント
ILS/USD(イスラエル新シェケル／米ドル)	A	1,000,000イスラエル新シェケル
JPY/USD(日本円／米ドル)	A/E	12,500,000円
KRW/USD(韓国ウォン／米ドル)	A	125,000,000韓国ウォン
MXN/USD(メキシコペソ／米ドル)	A	500,000メキシコペソ
NZD/USD(NZドル／米ドル)	A	100,000 NZドル
PLN/EUR(ポーランドズロチ／ユーロ)	A	500,000ポーランドズロチ
PLN/USD(ポーランドズロチ／米ドル)	A	500,000ポーランドズロチ
RMB/EUR(中国人民元／ユーロ)	A	1,000,000中国人民元
RMB/JPY(中国人民元／日本円)	A	1,000,000中国人民元
RMB/USD(中国人民元／米ドル)	A	1,000,000中国人民元
RUB/USD(ロシアルーブル／米ドル)	A	2,500,000ロシアルーブル

A=アメリカンタイプ E=ヨーロピアンタイプ

呼値の単位 (1ティック動いたときの損益額)	満期	先物 受渡/ 決済
1豪ドル相当額(0.0001米ドル刻み (1枚当たり10.00米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1ブラジルレアル相当額を0.00005米ドル刻み (1枚当たり5.00米ドル)	続限月12本、週次4本連	差金決済
1加ドル相当額を0.0001米ドル刻み (1枚当たり10.00米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1スイスフラン相当額を0.0001米ドル刻み (1枚当たり12.50米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1チェコルナ相当額を0.000002ユーロ刻み (1枚当たり8.00ユーロ)	四半期限月4本、シリアル限月2本	現物
1チェコルナ相当額を0.000002米ドル刻み (1枚当たり8.00米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本	現物
1ユーロ相当額を0.0001スイスフラン刻み (1枚当たり12.50スイスフラン)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1ユーロ相当額を0.0005英ポンド刻み (1枚当たり6.25英ポンド)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1ユーロ相当額を0.01円刻み (1枚当たり1,250円)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1ユーロ相当額を0.0001米ドル刻み (1枚当たり12.50米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1英ポンド相当額を0.0001米ドル刻み (1枚当たり6.25米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1ハンガリーフォリント相当額を0.0000002 ユーロ刻み (1枚当たり6.00ユーロ)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1ハンガリーフォリント相当額を0.0000002 米ドル刻み (1枚当たり6.00米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本	現物
1イスラエル新シェケル相当額を0.00001 米ドル刻み (1枚当たり10.00米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1日本円相当額を0.000001米ドル刻み (1枚当たり12.50米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1韓国ウォン相当額を0.0000001米ドル刻み (1枚当たり12.50米ドル)	連続限月12本、週次4本	現物
1メキシコペソ相当額を0.000025米ドル刻み (1枚当たり12.50米ドル)	連続限月12本、週次4本	現物
1NZドル相当額を0.0001米ドル刻み (1枚当たり10.00米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本、 週次4本	現物
1ポーランドズロチ相当額を0.00002ユーロ刻み (1枚当たり10.00ユーロ)	四半期限月4本、シリアル限月2本	現物
1ポーランドズロチ相当額を0.00002米ドル刻み (1枚当たり10.00米ドル)	四半期限月4本、シリアル限月2本	現物
1中国人民元相当額を0.00001ユーロ刻み (1枚当たり10.00ユーロ)	連続限月12本、週次4本	差金決済
1中国人民元相当額0.01円刻み (1枚当たり1,000円)	連続限月12本、週次4本	差金決済
1中国人民元相当額を0.00001米ドル刻み (1枚当たり10.00米ドル)	連続限月12本、週次4本	差金決済
1ロシアルーブル相当額を0.00001米ドル刻み (1枚当たり25.00米ドル)	四半期限月4本、週次4本	差金決済

緊急連絡先

CME Globexに関して、注文、約定、接続、あるいは一般規則についての疑問などで緊急の問題が発生した場合は、次の番号までお問い合わせください。

CME Globexコントロールセンター(GCC)

米国	+1 312 930 2322
欧州	+44 20 7623 4708
アジア	+65 6223 1357

CME通貨オプションについての詳細は、次の担当者までお問い合わせください。

北米

Craig LeVeille	+1 312 454 5301
Simon Burnham	+1 312 930 3426
Kevin McMillin	+1 312 930 8264

欧州・中東・アフリカ

Will Patrick	+44 20 3379 3721
--------------	------------------

アジア

Malcom Baker	+65 6593 5555
--------------	---------------

**CME GROUP 本社**

20 South Wacker Drive
Chicago, Illinois 60606
cme-group.com

CME GROUP グローバル拠点

シカゴ	サンパウロ
シンガポール	ワシントン D.C.
ヒューストン	ロンドン
東京	香港
ニューヨーク	ソウル
カルガリー	